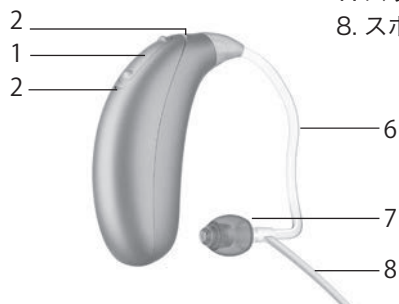


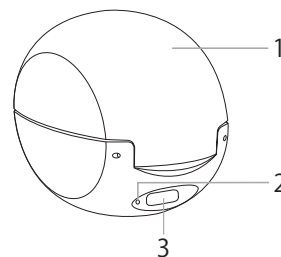


1. インジケータランプ付  
多機能ボタン
2. マイク (音の入口)
3. フック
4. イヤモールドチューブ
5. イヤモールド  
(お客様の耳形状の耳栓)

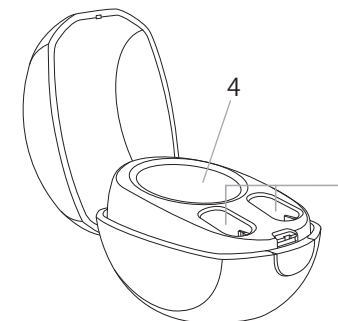


6. スリムチューブ
7. スリムチューブ用ドーム
8. スポーツロック

## 補聴器 各部名称



1. 充電器本体
2. 通電確認インジケータ
3. 充電用 USB-C ポート
4. 耳栓格納スペース
5. 補聴器充電用スロット (赤=右  
青=左)



## 充電器 各部名称

## 充電開始・完了

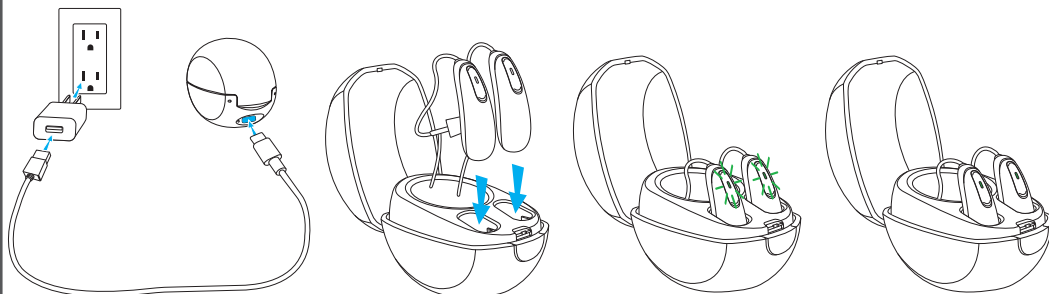
事故・故障防止のため、必ず付属の USB-C ケーブル  
とコンセント用アダプタをご使用ください。

1. 付属の USB-C  
ケーブルを充電  
器の接続ポート  
にさし込んで、  
コンセントへ接  
続します。

2. 充電器に補聴器  
を下部までしっ  
かりセットしま  
す。右左は**押し  
込み口**にある、  
**赤青のマーカ**  
**で確認**します。

3. 充電が始まると  
補聴器の動作確  
認ライトが**点滅**  
を始めます。  
点滅の色で容量  
がわかります。

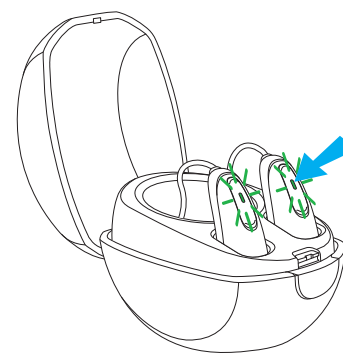
4. フル充電され  
ると補聴器の動作  
確認ライトが、  
**緑色点灯**が、  
充電完了までは  
**約 3 時間**です。



## ランプの状況

補聴器本体の充電状況

本体LED色	本体の残量	充電時間
● ● ● (赤点滅)	0 - 10%	
● ● ● (オレンジ点滅)	11 - 80%	30分 (30%) 60分 (50%) 90分 (80%)
● ● ● (緑点滅)	81 - 99%	
■ (緑点灯)	100%	3時間





## ※ 多機能ボタン

この補聴器には、「多機能ボタン」が備わっています。上下の短押し・長押しによって、ボリューム操作やプログラムの切り替え等の役割が割り当てられています。



初期設定

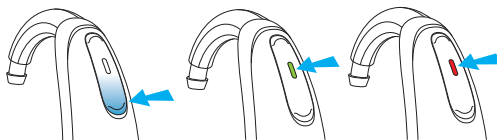
	短押し	長押し
ボタン上部	音量を上げる	プログラム変更
ボタン下部	音量を下げる	電源のオン/オフ

## 多機能ボタン 1

## 1. 電源のオン・オフ

通常通電された充電器への補聴器の出し入れでオン・オフができますが、補聴器を使用中に電源操作をしたい場合は、多機能ボタンの下部を3秒間長押しします。

補聴器の電源をオンにする時は、LEDが緑色8回点滅  
オフの時には、赤色3秒間点灯します。



多機能ボタンの下側を押さえる  
オン 緑色8回点滅  
オフ 赤色3秒点灯

## 2. メモリーの切り替え

聴こえや聴取環境に応じて、メモリーを最大4つまで設定でき、メモリーボタンで呼び出せます。初期設定は、電源が入った時に必ず1番目のメモリー（環境別自動）が出るようになっています。多機能ボタンの上部を長押しするごとに、2・3…と変更されます。「ポーン」という確認音の回数で、どのプログラムなのかの確認が可能です。

※ 初期設定は環境別自動のみです。  
他のプログラムを設定したい場合は  
お店での設定が必要となります。



## 3. フライトモード設定

電波の使用や発信を禁じられるような場所にいる場合は「フライトモード」に設定していただく必要があります。電源オフの状態からLEDライトが緑点滅⇒オレンジ色に光るまで、多機能ボタンの下部を7秒間押します。



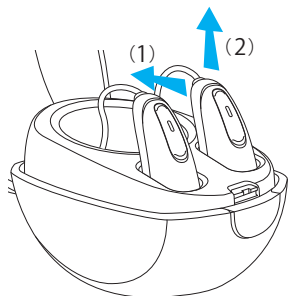
フライトモードを解除する場合は、電源をオフにした後に再度オンにします。  
(電源操作の仕方については「1. 電源のオン・オフ」をご参照ください。)

## 多機能ボタン 2

## 補聴器の操作

### 1. 充電器から取り出す場合

- 補聴器をチューブ側へ軽く押しながら
- 補聴器を上を引き上げると取り出しが簡単にできます。



### 2. 充電器で充電する前に

充電器へ入れて充電される前に、補聴器本体の下部、充電接触部分を柔らかい布などで拭き、汗やほこりなどを除去します。汚れなどがあるとうまく充電されない場合があります。

### 3. 電池残量警告音

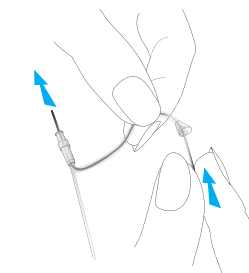
補聴器を使用中「ポーンポーン」と2回鳴る電池残量の警告音が聞こえることがあります。警告音が出てもそのまま使用を続けると、充電がなくなり、補聴器から音が聞こえなくなります。もし警告音が鳴ったらできるだけ早く充電を行うようにしてください。警告音は最初鳴ってから30分おきに複数回鳴ります。

聞きにくくなる原因のひとつに、イヤチップやスリムチューブのつまりがあります。

- フック仕様の場合は、補聴器のフックからチューブをはずしていただき、チューブと耳せんのみ水洗いしてください。

※ 水洗い後は、チューブ内の水分をしっかりと除去願います。

- スリムチューブ仕様でご使用の場合、スリムチューブを補聴器よりねじって外し、クリーニングピンを使用してチューブ内のクリーニングを行ってください。クリーニングピンは別売です。



## 補聴器の掃除方法